

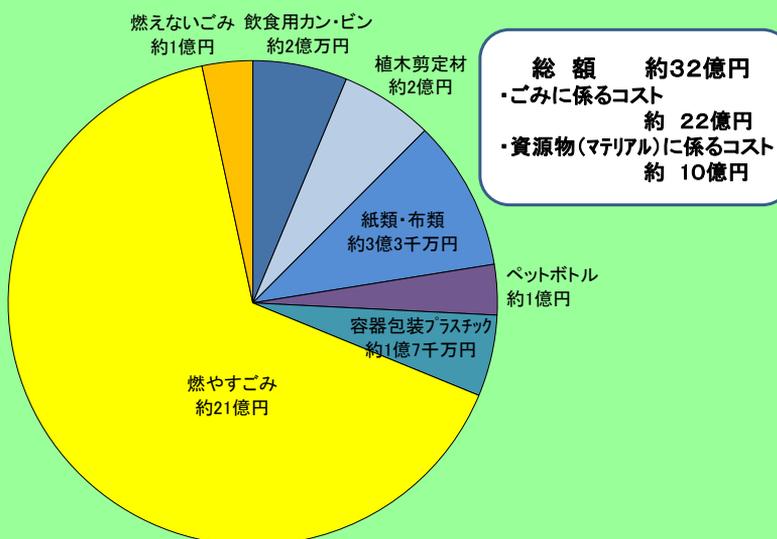
家庭ごみ戸別収集・有料化説明会

本日の進行予定

1. ごみ処理の課題と今後の対応
2. ご意見・ご質問への回答
3. 戸別収集・有料化の映像説明
4. 意見公募（パブリックコメント）について
5. 質疑

1

ごみの収集・処理に係る概算コスト(平成23年度)



2

ごみ処理の課題と今後の対応

(1)ごみの減量

<経過>

平成2年度	ダイエットかまくら'90運動
平成8年度	ごみ半減都市宣言・ごみ半減計画の策定
平成9年度	ごみの5分別開始 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の改正
平成10年度	ごみ半減計画の前倒し・今泉CCの焼却停止を決定
平成13年度	ごみ半減非常事態宣言・ごみ半減計画の見直し 今泉CCでの焼却継続を決定（稼働期間は改修後10年）
平成16年度	リサイクル率 全国1位（人口10万人以上）
平成21年度	山崎バイオマスエネルギー回収施設の計画を策定 （約13,000tの生ごみの資源化）
平成22年度	山崎バイオマスエネルギー回収施設の建設を行わないこと を決定（技術面・コスト面）
平成23年度	ごみ処理基本計画（中間見直し）を策定 ～市民、事業者、行政が一丸に、焼却量を平成27年度まで に3万トン以下へ～

3

<今後の対応>

平成23年度からのさまざまな取り組みにより、
平成24年度 焼却量約3万8千トンまで削減



平成27年度までに、あと8,000トンの削減が必要！

- ・家庭系ごみの戸別収集・有料化 3,500トン
- ・事業系ごみの分別徹底 2,500トン
- ・事業系ごみ処理手数料の改定 500トン
- ・その他の取り組み 1,500トン

現在、民間のごみ資源化施設への処理委託についても検討中

4

(2) 新焼却施設の整備

- 平成 9 年度 神奈川県ごみ処理広域化計画策定
- 平成 10 年度 横須賀三浦ブロックごみ処理広域化協議会設置
(横須賀市、三浦市、逗子市、葉山町、鎌倉市)
- 平成 16 年度 ごみ処理広域化基本構想(素案)～中間報告～
(鎌倉市：生ごみ資源化施設、逗子市：焼却施設)
- 平成 17 年度 鎌倉市・逗子市ごみ処理広域化検討協議会設置
- 平成 19 年度 生ごみ資源化施設整備に逗子市は参画しないことを表明
- 平成 21 年度 鎌倉市・逗子市による確認書を締結
(共同で焼却処理する施設を協議)
- 平成 24 年度 新焼却施設建設基本構想の策定に着手
- 平成 25 年度
 - ・逗子市、鎌倉市それぞれで焼却施設整備を行い、新たな広域化を検討することを確認
 - ・新焼却施設建設基本計画の策定に着手
 - ・生活環境整備審議会に「ごみ焼却施設基本計画の策定について」、廃棄物減量化及び資源化推進審議会に「最適な資源化のあり方について」それぞれ諮問

<考え方>

焼却のみの施設 ➡ 焼却をしてエネルギー回収を図る施設建設へ

5

